

中学生の「税についての作文」優秀作品
『関東信越税理士会十日町支部長賞』

税金が支えている当たり前の生活

十日町市立 中条中学校 3年
岡 田 奈 那 子

「税金は何のためにあるのだろうか？本当に必要なの？」税金について学ぶまではずっとそう思っていた。何のために増税するのも分からなかったし、仕事で稼いだお金のうち数パーセントは税金として納めないといけないということも知らなかった。買い物をするときに払う消費税もなぜ支払わなければいけないのか、なぜという気持ちと否が応でも支払っている現実疑問を感じることもあった。

私たちの暮らしには水が欠かせない。川の水は浄水場を通して「飲料水」になり、私たちのところにわたる。私たちはそれを使って毎朝顔を洗ったり、歯磨きをしたり、水を飲んだりしている。いつでも蛇口をひねればきれいな水が出る、これは当たり前のようで当たり前ではない。実はここにも税金が関係しているのだという。浄水場や下水処理場の建設費、上下水道の整備費用は税金から出されている。アフリカの一部の地域ではインフラが整備されていないため、人々は川や池の汚染された水をそのまま使うしかなくなっている実態がある。それにより伝染病にかかってしまい、命を落とすこともある。なぜインフラが整備されていないのかというと、海外では税金制度が曖昧になってしまっている地域もあり、税収入がほとんどないからだそうだ。そのためにインフラ整備のための費用を賄うことができず、伝染病などの深刻な問題に至ってしまっている。もし日本にも税金制度がなかったら、私たちが今まで通りの生活を送ることは不可能だと思う。きれいな水が飲めず、お米を炊いて食べることも、きれいな調理器具で具材を調理することもできない。それによってたくさんの人々が病気に苦しみ、命を落とすことになるだろう。

普段は当たり前のようにある税金は私たちが生活していくためのとても大きな役割を果たしていることがよく分かった。税金がなかったら私たちの生活は成り立たないだろう。こうして税金のことを学べるのも使っている教科書やタブレットが税金で賄われているからであり、税金がなかったら各家庭での負担がとて大きくなり、お金を支払うことのできる家庭とそうでない家庭で学力の差がついてしまうだろう。すべての人々が平等に教育を受けるためにも税金はなくてはならない存在だ。

今、この時も世界では大勢の人々が税金制度が整っていないために不衛生な環境の中、命を落としている。この日本という税金制度が整っている国だからこそ、私たちは当たり前の生活を送ることができている。

税金は私たちの暮らしにとって、とても大切だ。私は、税金に感謝をしながらこれからの日々の生活を送っていききたい。